

勉強するのは何のため？働くなってどうということ？

—これからの社会で求められる教育のあり方とは—

公益社団法人 経済同友会、幹事
林 明 夫

1. これからの社会とは何か、これからの社会で求められる能力とは何か。

- (1) 知識基盤型社会 ……知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力
- (2) グローバル化社会 ……多様な集団で交流する能力
- (3) 課題山積社会 ……自律的に活動する能力

*その前提となる能力

- ① 学び方を学ぶ (Learning To Learn) 能力
- ② 読書による思慮深さを身に付けること
 - ・ 新聞を読み、自分で考える力、批判的思考能力を身に付けること

*教育の目的

- ① 人生の成功：多様な選択肢のある人生
- ② 正常に機能する社会の形成に貢献

2. 学校で学ぶことの意味を知ること

- (1) 学校のすべての教科は役に立つ
 - ① 上級学校で役に立つ
 - ② 社会に出て役に立つ、一生役に立つ
- (2) 学校のすべての活動は役に立つ
 - ① 上級学校で役に立つ
 - ② 社会に出て役に立つ、一生役に立つ

3. これからの教育への期待

- (1) 教育の成果を決定する要因
 - ① 本人の自覚、② 先生の力量
 - * 本人の自覚を促すことも先生の力量に含まれる
- (2) 教育の質
 - ① カリキュラムの質、② 先生の質、③ マネジメントの質
 - * 3つの質の向上が期待される

4. 産業界(経済同友会)が教育界にできること

- (1) 文部科学省や教育委員会、大学や学校への政策提言
- (2) 講師派遣

5. おわりに—教育界と産業界、学校と企業はもっと交流を—

仕事とは —————
仕事とはお客様のお役に立つこと
① お客様のお役に立つとは、お客様の
問題解決のお役に立つこと
・ お客様の問題解決のお役に立つと
いう結果を出さなければ、仕事を
したことになる
② お客様のお役に立つことで、社会の
お役に立つこと、社会の課題解決の
お役に立つこと
③ お客様や社会のお役に立つことで、
生活できるだけの収入を得ること。
自己実現を果たすこと
⑤ 1つ1つの仕事には「社会的使命
(mission)」がある